

あたたかい医療をみんなの手で

玄々堂 君津病院

〒299-11 君津市東坂田4-7-20 PHONE 0439-52-2366(代)

“きみつだより”

’90 さくら号

NO.2 平成2年4月7日発行
発行責任者 茅野 嗣雄
編集者 “HUMAN”編集委員会

平成二年度、各部署新体制でスタート！玄々堂旋風吹き荒れる

平成2年、未だかつてない、新旧交代劇が行われた。

平年二年当初より現在までの間に入退職された方は、前者二十一名で、すでに各部署にて即戦力となり活躍中だ。また後者の多くは、結婚・出産等人生の大イベントを迎えた今後の御活躍が期待され

年度替わり恒例の玄々堂君津病院互助会幹事会新旧幹事交替が三月十四日行われた。平成二年度の新幹事長に透析室の池澤正雄さん、副幹事長

幹事会・新旧交替

今年の幹事会のモットーは「チームワーク」であると池澤新幹事長が語っている。

昨年度の幹事長の高橋さんは、はじめ、旧幹事の方々一年間本当に御苦労様でした。

職員厚生施設完成間近

去る三月八日、鶴舞病院付属高等看護学院の卒業式が行われた。当院職員の里見ヒロ子さんと、魚返慶子さんが三年間の授業及び実習を終え、今後の決意を述べられた。

卒業生代表として答辭を読ま

れ、今後、遠距離通学に加え

仕事をしながらの講義や実習

が完成する予

定である。

去る三月十八日、恒例の千葉県医業健康保険組合主催ボーリング大会が、千葉リバーレーンで開催された。当院か

レーンで開催された。

当院か

レーンで開催された。

部署だより★PART-I

私達がんばってま～す

私達事務部門は事務長以下
総勢二十二名の世帯です。一
階に医事課受付事務、二階に
経理、庶務、電算、総務、用
度、そして三階に医事課入院
事務があります。それぞれの
業務はまず外来受付事務では
通院患者さんや透析患者さん
の受付と会計、各種書類への
受付そして医療費の保険請求
事務を行っております。

次に二階に行きますと経理
では職員の給料計算や病院全
体の経理事務を行い、庶務は



地域医療の必要性が叫ばれますますますその比重が高まる中で私達職員は「高度な医療サービスを皆様方へ」を柱として日夜努力しております。

私達の職場は、その要求に応えるため他院にはみられないユニークな組織体系となつております。

そこで各部署の構成並びに業務について、簡単ではありますがその一端をシリーズで御紹介しましょう。

つております。以上が私達事務の業務内容です。

さて最近の話題ですが、この春より新機種コンピュータ導入で会計処理時間が短縮されます。ご期待下さい。また新入職員が入ってきて今まで以上に若くなる予定です。おまけに職員のあつあつ話等も聞こえて来てまさに春本番といった感があります。皆さん事務をよろしく！

(N)

A black and white photograph showing two men in white lab coats working at a computer in a laboratory setting. The man in the foreground is seated, facing a computer monitor which displays a grayscale image of a curved, possibly metallic or geological structure. Another man stands behind him, also looking at the screen. The room contains various pieces of scientific equipment, including what looks like a centrifuge and some shelving.

三階病棟はナース十六名、ナースエード二名、准看学生二名、クラーク一名、計二十名から構成され、十代後半から五十年代と年齢層も多岐にわたり老若入り混じって仕事をしている。外科系の病棟ということである。術前術後の患者さんが多くて術前処置、手術当日の処置に追われている。

3F ナースステーション
ハートフルナーシング

寄りの退院も一家で面倒を見る人が居ないなどの理由でなかなかスムーズに行かず悩みの種である。ここでMSWの旭さんに入つていただき今後の方針などを家族、主治医と共に話し合っている。家族は老人病院などを見学に行き「玄々堂のように入浴もさせてもらえないし、介護も十分でないようだから、このまま玄々堂に……」などの答えが戻ってくると嬉しいような「いやいや、ここは治療病院です」と自分に言い聞かせている始末である。特3をとつ

てからは、平均在院日数一十
日以内。「そろそろ退院を」の
肩たたきの仕事がきたようだ
スタッフには、妊婦が現在
になりそうである。

(S)

で
期発見を

放射線学校学生二名、ナース一名、ナースエイド一名で放射線撮影及び検査一切を行っています。又、特殊撮影及び検査時には外来からナースの応援をお願いしています。業務内容は、一般諸撮影、胃腸透視、CTの他、特殊撮影検査（血管造影、大腸ファイバー）、ERCP、PTCD等も非常に高いレベルで行なわれ、病気の早期発見治療に役立っています。医療も画像時代に突入しており、私達も他の施設に負けぬ様、勉強してゆきたいと思っています。

たいと頑張つてお
御理解下さい。四月
土曜日には東大病院
達グループに応援事
事になつています。
三月五日に武田入職致しました。
四年間学校と仕事と、張り切つてお
輩の関根君は四年生
国家試験です。浦川君
には父親になりま
人の年寄は五月になります。
らせました。放射線の男
張りますのでよろ
致します。

モップ片手に丸八年、今じやただの太ったおばん。温泉大好き「日本一の湯」草津に、君津病院の保養所ができ、一度行けば又行きたくなる。「温泉、スキー、子作り」用途はいろいろ草津の湯につかりアーコリヤコリヤいい気持ち。目を閉じるとカマキリみたいな細い人、我が身は三段腹、明日から仕事だ、又来るため。院長先生、副院長先生良い保養所を本当にありがとうございました。

大塚製薬

アクティブ バランス栄養食
NEW カロリーメイト
プロテイン・マルトオリゴ糖配合

糖尿病教室に 参加して

坂村 澄人

今回初めて教室に参加させて頂き、思った事は第一に私と同じ患者さんが思った以上に多い事を知り、変な話ですが力強く感じました。

2、3年前迄は、糖尿病なんて他人の病気と決め込んでいたのですが、いざ自分が患者として入院、通院する破目になり生活環境が変わり、家族にも負荷をかける事になり元

気と思っていた時の不摂生が、悔やまれてなりません。

将来、この病気と仲良く一緒に、生活を共にしていくからには病気の仕組み、インスリン注射の必要性、食生活の大切さを、紫芝先生及び、他の先生方の説明で、生かじりながら知識として理解できました。

今後は、先生方の指導のもとに、自分の体ですので、自己管理を充分に行なっていきたいと思います。今後もこのような会を、ぜひ企画して頂き、参加し、ご指導を頂きたいと思っている一人です。

昨年より、虎の門病院の紫芝先生を迎えて、糖尿病教室を開催している。病院が糖尿病教室を開くのは、新しい試みで、病気に対する専門的知識や、生活指導や、限られた時間の中の外来診察では一人一人充分に説明できない部分を、教室の場を設けて、理解してもらおうという目的で発足した。

教室では患者さんがメモをとったり、質問したりで、意欲的に病気に取り組む姿勢がみられ、やはり継続的な開催の必要性を感じた。さて、ここで改めてホットな話題である「糖尿病」について、それぞれの専門的分野の立場から、語つてもらおう。



糖尿病の治療

医師 紫芝 良昌

インスリン注射をベンタツチで

東京 副師 杉村 昭文



糖尿病治療に於ける薬剤としては、経口糖尿病薬とインスリンがあります。

経口糖尿病薬はインスリンではなく、インスリンの分泌を促進させる薬剤です。当院では、服用法を食直前にしています。理由として薬の効果を上げる事、低血糖にならない事、また薬を必ず服用すること、この二点から食直前服用にし

病気の治療、特に糖尿病のような慢性疾患の治療はそれ程簡単なことではありません。なによりも病気の本質をしっかりと理解している理解力が必要です。糖尿病の本体はインスリン分泌の不足です。食事を節制してインスリンの浪費を防ぎ、血糖降下剤によって用されるようにし、合併症の発生を防ぎます。どのような意

味があつて食事療法や薬による治療が行われているのか理解して下さい。間違った情報に惑わないことも必要です。

何かが効くと言われれば、試してみたいと思うのが人情ですが、断食が効くと言われて

くなつた方があり断食道場主が告訴されています。糖尿病

の治療の立派さが他の人の治療の大きな励みになるのです。自分を大切にしたいものです。

インスリンを使用している

方の血糖自己測定は、健康保険でも認められており、病院では、測定機（グルコスター）を貸出しています。

測定は、人差し指を付属の採血針で一滴の血液により、一分間で測定できます。

検査科では、外来診察の前に血糖を測定しますが、その時に、飲食の有無と経過時間



血糖値を自分で測定できます

看護師 西川 実子

このコーナーは“玄々堂スラップでいろいろな角度から病気を考えてみよう”というコーナーで、シリーズでお届けします。第一回目は、今Hotな糖尿病を取り上げてみました。

もつと病気に対する理解を

看護師 伊藤 かづ

自分の食生活を見直しては

看護師 天香 上城 之内 青美



糖尿病治療に於いて、食事療法の重要性は、言うまでもあります。手技に於いてもノック進歩しています。インスリノン製剤にもヒトインスリノンが開発され、インスリノンアレギー、インスリン抗体等の問題が昔に比べ、かなり改善されました。手技に於いてもノック進歩しています。インスリノン製剤にもヒトインスリノンが開発され、インスリノンアレギー、インスリン注射器が開発され、インスリン注射を目指す、簡単に、正確に、行えるようになりました。

また栄養指導の難しさでもあります。

糖尿病薬も、インスリノン

があります。

経口糖尿病薬はインスリノン

ではなく、インスリノンの分泌

を促進させる薬剤です。当院

では、服用法を食直前にし

ています。理由として薬の効果

を上げる事、低血糖にならな

いよう食事をきちんととること、

また薬を必ず服用すること、

この二点から食直前服用にし

ます。

医療として大切だと考えます。

「糖尿病食＝健康食」であるこ

とを認識し、患者さん自身が糖尿病をもっと理解し、家族の協力を得ることが、食事療法の成功につながります。糖尿病教室を通じて、食事に対する関心を深め、日頃の自分の食生活を正しく評価してほしいと思います。

一人、一人が糖尿病と上手に付き合っていくよう、栄養士の立場から相談相手となり援助していきたいと思いま

ります。

食事療法は、「面倒なことだ

」「むずかしい」等と思いません

。でも、糖尿病は、言つても

あります。患者さん自身が、理解、実行し、そして、

いかに継続していくことがで

きます。糖尿病コントロールの上で大切なことであり、

また栄養指導の難しさでもあ

ります。

糖尿病薬も、インスリノン

があります。

経口糖尿病薬も、インスリノン

ではなく、インスリノンの分泌

を促進させる薬剤です。当院

では、服用法を食直前にし

ています。理由として薬の効果

を上げる事、低血糖にならな

いよう食事をきちんととること、

また薬を必ず服用すること、

この二点から食直前服用にし

ます。

医療として大切だと考えます。

「糖尿病食＝健康食」であるこ

とを認識し、患者さん自身が糖尿病をもっと理解し、家族の協力を得ることが、食事療法の成功につながります。糖尿病教室を通じて、食事に対する関心を深め、日頃の自分の食生活を正しく評価してほしいと思います。

一人、一人が糖尿病と上手に付き合っていくよう、栄養士の立場から相談相手となり援助していきたいと思いま

ります。

食事療法は、「面倒なことだ

」「むずかしい」等と思いません

。でも、糖尿病は、言つても

あります。患者さん自身が、理解、実行し、そして、

いかに継続していくことがで

きます。糖尿病コントロールの上で大切なことであり、

また栄養指導の難しさでもあ

ります。

糖尿病薬も、インスリノン

があります。

経口糖尿病薬も、インスリノン

ではなく、インスリノンの分泌

を促進させる薬剤です。当院

では、服用法を食直前にし

ています。理由として薬の効果

を上げる事、低血糖にならな

いよう食事をきちんととること、

また薬を必ず服用すること、

この二点から食直前服用にし

ます。

医療として大切だと考えます。

「糖尿病食＝健康食」であるこ

とを認識し、患者さん自身が糖尿病をもっと理解し、家族の協力を得ることが、食事療法の成功につながります。糖尿病教室を通じて、食事に対する関心を深め、日頃の自分の食生活を正しく評価してほしいと思います。

一人、一人が糖尿病と上手に付き合っていくよう、栄養士の立場から相談相手となり援助していきたいと思いま

ります。

食事療法は、「面倒なことだ

」「むずかしい」等と思いません

。でも、糖尿病は、言つても

あります。患者さん自身が、理解、実行し、そして、

いかに継続していくことがで

きます。糖尿病コントロールの上で大切なことであり、

また栄養指導の難しさでもあ

ります。

糖尿病薬も、インスリノン

があります。

経口糖尿病薬も、インスリノン

ではなく、インスリノンの分泌

を促進させる薬剤です。当院

では、服用法を食直前にし

ています。理由として薬の効果

を上げる事、低血糖にならな

いよう食事をきちんととること、

また薬を必ず服用すること、

この二点から食直前服用にし

ます。

医療として大切だと考えます。

「糖尿病食＝健康食」であるこ

とを認識し、患者さん自身が糖尿病をもっと理解し、家族の協力を得ることが、食事療法の成功につながります。糖尿病教室を通じて、食事に対する関心を深め、日頃の自分の食生活を正しく評価してほしいと思います。

一人、一人が糖尿病と上手に付き合っていくよう、栄養士の立場から相談相手となり援助していきたいと思いま

ります。

食事療法は、「面倒なことだ

」「むずかしい」等と思いません

。でも、糖尿病は、言つても

あります。患者さん自身が、理解、実行し、そして、

いかに継続していくことがで

きます。糖尿病コントロールの上で大切なことであり、

また栄養指導の難しさでもあ

ります。

糖尿病薬も、インスリノン

があります。

経口糖尿病薬も、インスリノン

ではなく、インスリノンの分泌

を促進させる薬剤です。当院

では、服用法を食直前にし

ています。理由として薬の効果

を上げる事、低血糖にならな

いよう食事をきちんととること、

また薬を必ず服用すること、

この二点から食直前服用にし

ます。

医療として大切だと考えます。

「糖尿病食＝健康食」であるこ

とを認識し、患者さん自身が糖尿病をもっと理解し、家族の協力を得ることが、食事療法の成功につながります。糖尿病教室を通じて、食事に対する関心を深め、日頃の自分の食生活を正しく評価してほしいと思います。

<p

